

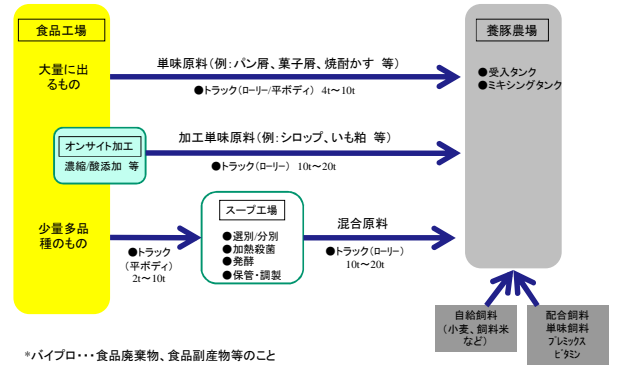
小田急フードエコロジーセンターの取り組み 及びリキッドフィーディングの最新事例

～畜産農家と連携したリキッド飼料による取り組み事例～



株式会社オルタナフィード
代表取締役 養庭 功

リキッドフィーディング向けパイプロ原料流通の現状



パイプロ単味原料の流通(例)



パン屑



米飯屑



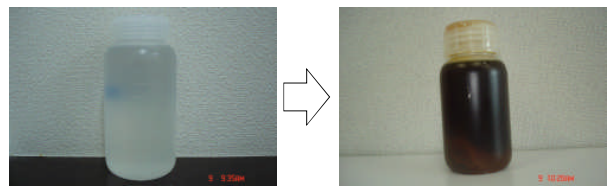
糠屑



生地ロス

Alterna Feed INC.

オンサイト加工の流通(例1:濃縮シロップ)



濃縮シロップ・・・10%→60%へ→保存性及び飼料価値向上



Alterna Feed INC.

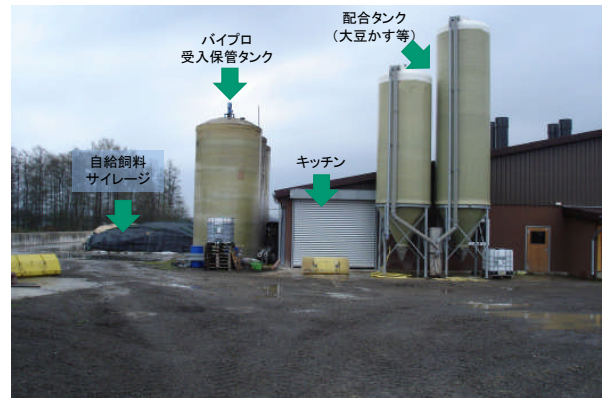
パイプロ原料スープ工場の流通(例)



複数の食品関連事業所多品種少量のパイプロを回収し、2種類のスープを製造

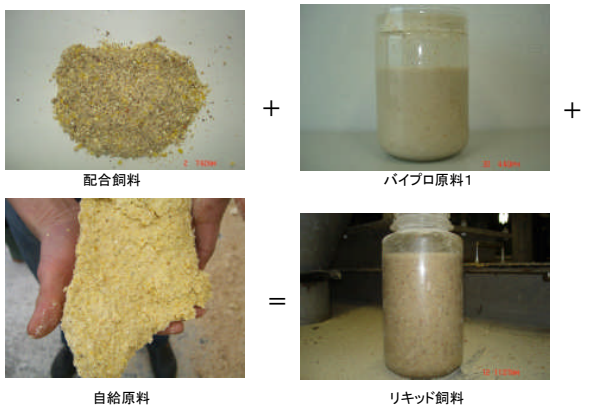
Alterna Feed INC.

利用の様子・・・A農場



Alterna Feed INC.

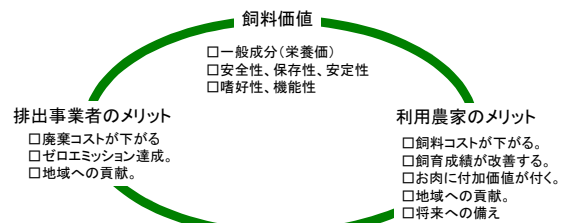
利用の様子



Alterna Feed INC.

パイプロ飼料流通 ポイント

- 発生するパイプロ(食品廃棄物、副産物)に飼料価値があること。
- 取り組みが、排出事業者、利用養豚農家双方にメリットがあること。
- 価格だけの取引は長続きしない。



⇒ 排出事業者、利用農家の連携が重視される。

Alterna Feed INC.

